

本丸跡にあった修験寺院「十玉院」

市民学芸員 稲植 保美

市民学芸員として、6月で20年、初めてガイドを担当した当時を思い出し感慨深いものがあります。

今回は、あまり知られていませんが、難波田城本丸跡にあり、かつて有名な寺院であった十玉院について、あらましをまとめてみました。

園内の古民家ゾーンと城跡ゾーンの間(竹林の中)に「十玉院墓地」(私有地)があります。

十玉院は天正18年(1590)に難波田城が廃城となった後、江戸時代初期に本丸跡に置かれた修験寺院で、十玉院墓地は、その歴代関係者のものです。

修験道は、役小角(役行者とも呼ばれる)を祖と仰ぐ日本独自の信仰です。(ちなみに『広報富士見』(2020年4月号)には、水宮神社所蔵の「役行者座像(木造)」が市指定の文化財になった旨の記事があります)

修験道は、修験者(山伏)が山岳修行を行い、霊的な能力を得ることで民衆を救済するとされています。中世には仏教とも習合し、天台系の本山派(京都にある聖護院を本山とする)と、真言系の当山派(京都、醍醐寺三寶院を本拠とする)が起りました。

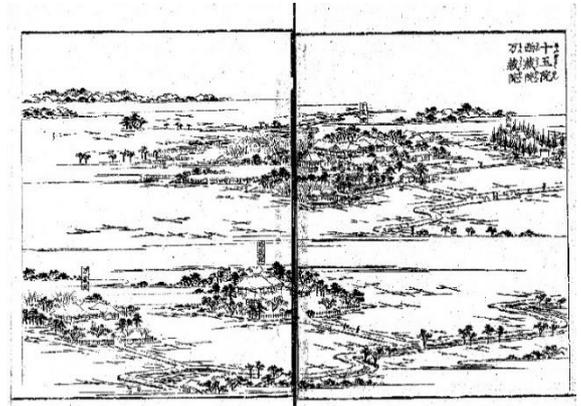
そして、聖護院は熊野三山の別当を兼ねて、熊野修験の組織化を進めました。その中でも十玉院は重要な地位を占めていました。

十玉院は本山派の直末(本山直属の末寺)で、中世には十玉坊と称し、最初は大塚(現・川越市説と現・志木説がある)に、その後、市内の水子、芝山(現清瀬市)、そして下南畑の難波田城跡へと移動してきました。

文明18年(1486)には、天台修験を統括する聖護院門跡の地位にあった道興准后が関東・北陸・東北を巡り歩き、遊歴記(旅行記)『廻国雑記』に大塚の十玉院に滞在したことが記されています。

また、修験者は先達として、一般の信者が熊野三山へ行く際には、道中や現地での案内なども務め、今日という観光会社のような役割も果たしたといわれています。

難波田城本丸跡にあった十玉院は、江戸時代の観光ガイド『江戸名所図会』で紹介され、本堂・総門



江戸名所図会

をはじめ多くの建物とともに子院の西藏院、万蔵院が描かれています。

しかしながら、明治初期の神仏分離政策、そして明治5年(1872)には修験道廃止令により修験道は廃止され十玉院は廃寺となりました。廃寺に伴い、十玉院にあった輪蔵は本應寺(川越市石原町)、木製地蔵像は灌頂院(同市古谷本郷)に移されました。なお輪蔵とはお経を納めた回転型の蔵です。これを回転させるとお経を唱えたことになるとされます。

難波田城公園開園前の平成10年(1998)には、市教育委員会職員と文化財保護審議会委員が、また平成16年(2004)には、市民学芸員の管外研修の一環として、この輪蔵を見学しました。

その他、十玉院に関する伝承として、十玉院の院主が水子般若院の院主とその愛犬とともに京都聖護院に登った後、犬が亡くなり塚を造り埋葬した「犬の墓」伝説があります。また、針ヶ谷の御岳信仰を広めた神山家の先祖彦平氏、水子般若院の萩元氏(現水宮氏)、三芳町藤久保の東乗院の鈴木氏は、十玉院で修験の道を修めたと伝えられています。



輪蔵(川越本應寺)

市民学芸員のページ *このページは市民学芸員が原稿を執筆、編集しました。

難波田城 ちょっと拝見 みどころ紹介

常設展シリーズ①『映像コーナー』

昨年10月から故障のため使用中止になっていた常設展示室映像機器が新しくなり復活しました。映像コーナーは、展示室に入り真つすぐ進んだ突き当りです。パソコンの大きなディスプレイと小さなディスプレイ(タッチパネル)が置かれています。操作はマウスやタッチパネルで行います。映像の一時停止・再開、再生速度の変更、先送り・逆戻り、音量の調整などができます。

見られる作品は、開館以来上映してきた「関東争乱と武将難波田善銀」などのほか七分野(31タイトル)から選べるようになりました。七分野の内訳は、①難波田氏と難波田城(1タイトル) ②古民家の復元(1タイトル) ③村の芸能(6タイトル) ④行事と食文化(8タイトル) ⑤職人の技(6タイトル) ⑥わら縄を作る(6タイトル) ⑦昔



映像選択画面

の風景(3タイトル)です。「関東争乱と難波田善銀」は、16世紀前半頃に扇谷上杉氏の重臣として有力支城の一つである松山城(比企郡吉見町)の城代(城主)を務め、小田原北条氏との戦い(河越夜戦)で命を落とした、難波田善銀の活躍を、切り絵映像でダイナミックに描いています。

現在新型コロナウイルスの影響で見られませんが、見られるようになりましたら、どうぞご利用ください。

(大山 育子)

おもしろ・なつかし体験 ⑥5 もんき 紋切り

このコーナーは、難波田城公園での体験学習やイベントの紹介・報告・参加者の感想などを取り上げます。

昨年の5月と10月、今年の2月のちよこつと体験で、江戸時代に遊ばれた紋切りを行いました。3回の体験で、60人の参加がありました。

平安時代から貴族や武士の家柄などを表す「家紋」には、様々な意味や物語が詰まっているといわれています。この体験は、三角形に折った色紙に型紙をあてて切抜き、その紋の形に切抜く遊びです。

最近では、普段の生活の中で紋を使うことが少なくなりましたが、紋切りは江戸時代の遊びの文化の一つとして今も楽しむことができます。

難波田城資料館では、14種類の中から好きな型紙

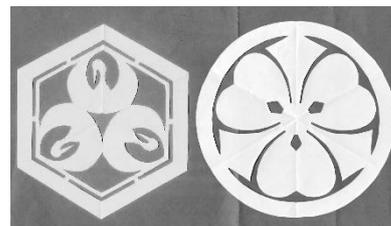
を選んでもらい、それに沿って切り抜きます。

切り抜いたものを開いて台紙に貼り付けて完成です。苦勞して切り抜いたものを開いて紋ができあがると、うれしくなって、何枚でも挑戦したくなります。自分で考えた面白い紋を切り抜いてみるのも楽しそうですね。また、ちよこつと体験で、行いたいと思います。ぜひ、遊びに来てください。

(古澤 立巳)



こんな型紙を…



切り抜いて完成!

人の創ったもの★人の使ったもの

公団団地のお風呂

令和2年春季企画展「お風呂の富士見誌～うちで湯ったり・でかけていい湯」では、市内で使用されていた2つの風呂桶おけを展示しています。今回は、そのうちの1つ、鶴瀬第2団地で使われていた風呂桶を紹介します。

鶴瀬第2団地

鶴瀬第2団地は、昭和37年(1962)に日本住宅公団により造成され、低層、中層あわせて1,057戸ありました。この風呂桶は低層(2階建て)のテラスハウスに設置されていたものです。

公団住宅とお風呂

日本住宅公団(昭和30年・1955設立)によって作られた公団住宅は、その大半にお風呂が備え付けられていました。材質は、関西や中部ではタイル製でしたが、他の大部分は木製でした。しかし昭和30年代中頃になり公団住宅が大量に建設され始めると、木製の風呂桶は大量生産に不向きなどの問題点が出てきました。その結果、昭和39年(1964)には風呂のサイズの規格化、昭和40年(1965)以降からは材料をホーローへ替えるなどの策が採られました。また、風呂釜もガス焚きの内釜から、昭和40年以降は吸排気口が外につながっているバランス釜へ、50年(1975)以降は、次第に給湯器へと変化していきます。

鶴瀬第二団地のお風呂

この風呂桶は、大きさや素材が規格化される直前、ガス炊きの内釜からバランス釜へと変わる前に作られたものです。

そのため、着火したガスバーナーを入れる焚き口が正面にあります。また壁に接する背面と床に接する所が、焦茶色に塗装されています(写真1)。

そして風呂桶を斜め上からのぞくと、内釜があることが確認できます(写真2)。この釜のある部分には、仕切りが設けられており、火傷を防止していたと考えられます(写真3)。そして正面上からみると(写真4)、煙突のある周りが人が入る部分と区切られています。おそらく上がり湯を沸かしたと考えられます。

このコーナーでは、地元に関する資料を紹介します。今では使われなくなったものからわたしたちの身近な歴史をひもといてみたいと思います。

この風呂桶は、平成21年(2009)、鶴瀬第二団地が解体される際に寄贈されたものです。また風呂桶には、様々な使用上の注意書きも残っています。そのことからこの風呂桶が長期間、大事に使われていたと推測されます。(田ノ上 和宏)



1 公団のお風呂(木製浴槽)



2,3 風呂桶を斜め上から見る



4 風呂桶を正面上から見る

＊ ＊おかげさまで20周年＊ ＊

難波田城公園・資料館は、令和2年(2020)6月1日をもって、開設20周年になります。これもひとえに皆様のおかげです。ありがとうございます。

しかし、このところ新型コロナの影響のため、イベントの開催の目処がたっておりません。イベント予定は難波田城資料館のホームページでご確認ください。

そこでこのページでは難波田城公園・資料館の20年を振り返ってみたいと思います。



平成12年(2000)6月1日
難波田城公園・資料館開設



平成22年(2010)9月26日
難波田城公園10周年でイメージキャラクター募集
応募総数156点から「なんばった」誕生

難波田城公園イメージキャラクター
なんばった



平成24年(2012)11月24日
市制施行40周年記念事業「古民家結婚式」



平成27年(2015)10月17日
なんばった仮装コンテスト(開園15周年秋のなんばったまつり)

平成30年(2018)11月4日
来館者100万人突破



富士見市立難波田城資料館
〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑 568-1

TEL. 049-253-4664 Fax. 049-253-4665

https://www.city.fujimi.saitama.jp/madoguchi_shisetsu/02shisetsu/shiryokan/nanbatajo/index.html

◆休館日/月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、年末年始 開館時間/午前9時～午後5時

◇公園休園日/なし 開園時間/午前9時～午後6時(4月～9月) 午前9時～午後5時(10月～3月)



資料館公式サイト